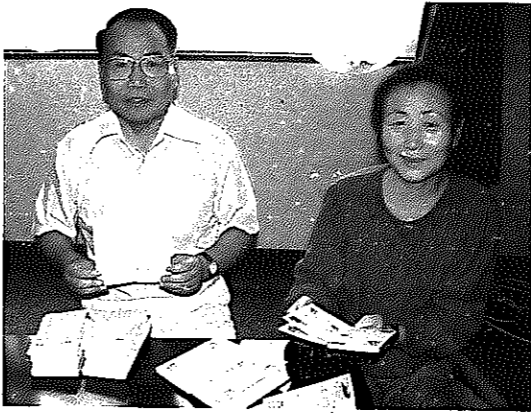


国際ポラントニア貯金ラリー 足で勝ち取った全国2位 熊倉正平さん・幸子さん

昨年一年間に全国の郵便局一千六百二十七カ所を回り、国際ポラントニア貯金ラリーで全国二位に輝いた熊倉正平さん・幸子さん夫妻（旭町）。「優勝を狙って頑張ったんですが、トップに立つのは難しいですね」と笑います。



国際ポラントニア貯金ラリーとは、全国の郵便局で国際ポラントニア貯金をし、ポイントを競うもの。熊倉さんの貯金通帳には北海道から沖縄まで、全国各地の郵便局の名前が並び、一年間で十九冊



にもなりました。「一年三百六十五日といいますが、郵便局は土日休みですから、回れる日は実質二百五十日もないんです。しかも時間は九時から四時まで。短時間でいかに多くの郵便局を回るか、何カ月も前から計画します」と正平さん。通算七十五泊百六日の旅行をし、一日平均十五・三方所を回ったことに。一日に最も多く回ったのは四十三カ所、十分に一方所回った計算になります。県内には簡易郵便局や特定郵便局など七百近くの郵便局がありますが、全部行きませんでした。交通手段は遠くなら自家用車を利用しますが、遠出をするときはフルムーンをフル活用。旅行先で有名な人会うことも多く、旅先のスタンプを集めたサイン帳には野球選手や国会議員、タレントなどの名前も見えます。

通帳にはいろいろな思い出が詰まっています。見ず知らずの私たちに、中学生やお年寄りが「おはようございます」「こんにちは」とあいさつをするんです。そういう運動をしていたそうなんです。幸子さんが良かったです」と幸子さん。「人を見たら泥棒と思え」という二つのことが、身に染みて分かりました」と正平さん。旅行の趣旨を聞いて七カ所の郵便局を自ら案内してくれた局長さん、自転車を貸してくれた人など、たくさんの方の善意に触れた一方、わざと遠回りをするタクシー運転手など、心寂しい思いをしたこともありました。夏場は車中で野宿をすることもありますが、夜中に巡回中の警官に起こされたり、心中と間違われたり、予期せぬ体験も。今年も幸子さんの体調がすぐれないこともあって充電中。「来年はぜひ優勝したい」と目を輝かせます。旅で友達もたくさんでき、なじみの宿もできました。熊倉さん夫妻の郵便貯金ラリーは全国一を目指してまだまだ続きます。

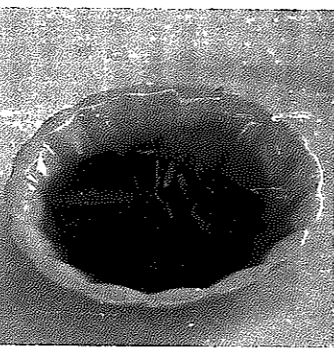
広がれ健康家族②⑤ しゅんを食べる「ナス」 保健センター（☎373・4300）

ナスの原産地はインドで、中国を経て奈良時代に渡来し、日本の代表的な野菜として栽培されてきました。主成分は糖質で、ビタミン、ミネラル類は少なく、野菜としての栄養的特性は少ないものの、あつさりした風味が日本人の好みに合い、幅広い料理に使われています。本来のしゅんは七月から八月の夏ですが、今は一年中出回っています。

【上手な選び方】
暗紫色でつやがあり、傷がなく身に張りがあり、さらにへたの切り口が新しく、トゲに触ると痛くないものが新鮮。ナスは冷たさに弱いので、冷蔵庫よりは室温

に置くのが無難です。長期保存するなら漬物が良いでしょう。

【料理】
ほかの野菜と異なり、煮ると崩れやすいので、油炒めや揚げ物の材料に向きます。また、油を使うことにより色が抜けないため、煮物などは一度揚げてから使うと良いでしょう。天ぷらにするときは、皮を下にして揚げると、変色を防いで色良く揚げるができます。



（鳥肉とナスの南蛮漬け）（4人分）
材料 鳥もも肉：400g、ナス：5個、ニンジン：30g、ネギ：1本、ショウガ：1かけ、キヌウカ：1/2本、赤トウガラシ：1本、カタクリ粉、揚げ油、調味料

作り方
①鳥肉は一口大に切り、塩小さじ1/3、酒大さじ1にまぶし10分置く
②ナスは縦半分に切り、皮に斜めの細かい切り目を入れ、2、3つに切る
③ニンジン、ネギ、ショウガを下切り、キヌウカは短冊切りにし、赤トウガラシとともに、しょうゆゆ3/5カップ、酢2/5カップ、酒、みりん、各大さじ2を合わせる
④鳥肉はカタクリ粉をまぶし、ナスはそのまま揚げ、③に漬ける

広報クイズ⑤②

- 問題
①生活雑排水も処理できる合併処理浄化槽。市内の普及率は約何%？
A 0.4% B 4% C 40%
(ヒント=4ページ)
②今年度から着手された農村総合整備モデル事業・地域振興特別推進型の通称は？
A スーパーモデル B プラモデル
C ファッションモデル
(ヒント=7ページ)
③牛崎の田村ミヨさんが、健康のためにお勧めするジュースは？
A ミソジュース B シソジュース
C 梅ジュース
(ヒント=14ページ)

応募の方法

はがきに答えの記号、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。
□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 7月19日(月)必着 □抽選 7月20日(火)に市役所に来られた人に抽選していただきます □発表 8月1日号

当選おめでとう

- 【図書券】▶木村由香（田中）▶高井宏晃（庄瀬）▶鈴木民治（五六の町）▶風間悦子（戸頭）▶遠藤徹（上下諏訪木）【自然科学館招待券】▶布川勝（能登）▶野口隆（西酒屋）▶神山雅弘（白根）

応募はがきから

○「広がれ健康家族」は役立ちます。これからも頑張ってください。（あけみ）
○ただ今、帰省中で、数年ぶりに広報しろねを見ました。とても読みやすくて楽しいコーナーもあって、思わず引き込まれてしまいました。（あゆみ）



抽選は6月18日に、市役所で小原美智子さん（東京都）にお願ひしました。先月号の正解は①C②C③A。応募総数は28通で、すべて全問正解でした。

市立図書館 今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※第2・4月曜、祝日は休館
月・水・木・土・日曜日
……………午前9時～午後5時
火・金曜日……………午前9時～午後8時
▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます

今月の一冊
「氷炎」 高樹のぶ子著
再会は、若者の初恋や結婚を前提とした恋愛より複雑で、型もいびつにならざるを得ない。二十年を隔てて再会した二人。青春の日には見えなかった本当の愛を求める姿を描く。



あなたも 風博士

①ペラボー

このコーナーでは、来年夏の完成を目指して建設中の「しろね大風と歴史の館」に展示される国内外の風の数々を紹介していきます。このコーナーを締めばあなたも風博士。第一回は秋田県のペラボーです。

何とも奇妙な絵です。男ペラボーと女ペラボーがあります。ペラボーの正体が何なのかは、まだ分かっていないようです。舌を出してアカンペーをしているのだともいいます。ユーモアに富んだ、優れたデザインの風です。



頭巾に描かれる模様によって「花ペラ」「旗ペラ」などとも呼ばれます。写真には能代市の風師北村長三郎師の風ですが、秋田市や湯沢町にもそれぞれのペラボーがあつて、絵も少しずつ異なります。しかし、アカンペーをしている表情は、基本的に変わっていない。

旗ペラボーは日清・日露の戦で日本の勝利を祝って作られた風だといわれています。

「坂上田村麿が東北遠征のころに生まれた風だつて」

「ウツノソウ」

そのころの日本には風はありませんでした。でもそんな伝説が「もしかしたら本当かも」と思わせるデザインです。

北村師は夏祭りのシーズンにはちょうちんを作り、それが終わると風作りにかかります。師はペラボー風のほかに、武者絵も描きます。

（文・風収集委員会 田村和雄）